

# 全国高校選抜レスリング大会

## 藁澤君（青森県光星学院高）が見事準優勝



準優勝の賞状とメダルを手に喜びの藁澤謙君

全国高校選抜レスリング大会個人対抗戦の74級<sup>キ</sup>級で、本町出身の藁澤謙君（青森県光星学院高2年）が準優勝しました。

大会は3月29日に新潟県新潟市で行われ、74級<sup>キ</sup>級には全国から予選を勝ち抜いてきた47人が出場しました。青森県大会で優勝し、東北大会を2位の好成績で突破した藁澤君ですが、大会前に首を痛めてしまい思うように練習ができず、不安を抱えたままでの出場となりました。

初戦から順調に勝ち進んだ藁澤君は、決勝戦へと進出しました。決勝戦の相手は数々の大会で実績を上げてきた高谷惣亮選手（京都府網野高3年）。藁澤君は優勝候補を相手に攻めを確実に防いだものの、思うように攻め込むことができず、場外などでポイントを奪われてしまいました。結果、惜しくも優勝はできませんでしたが、全国2位の素晴らしい成績を収めました。

藁澤君は「優勝を目指していたので、準優勝という結果は悔しかったです。今度はベストの状態で試合に臨み、優勝したいです。今大会の結果に満足せず、インターハイでは優勝を目指します」と次の大会に向け、意欲を燃やしていました。

## 盛岡市内一周継走駅伝大会 山田中が男女とも上位入賞



準優勝した山田中女子の皆さん



3位に入賞した山田中男子の皆さん

盛岡市内一周継走駅伝大会で、山田中が男女ともに上位入賞する活躍をみせました。大会は4月15日に盛岡市で行われ、中学校男子の部には118校、女子の部には111校が出場。序盤から好位置につけた山中女子は、3走で5位から3人抜きの快走をみせてアンカーへ。盛岡白百合学園（盛岡市）と激しい競り合いの末、同タイム2位でゴールしました。また、山中男子はスタートから上位をキープしていましたが、下小路中（盛岡市）の大会新記録の走りにあと一歩及ばず、3位でゴールしました。女子主将の佐々木美咲さんは「3位入賞を目標にしていたので、とてもうれしいです。10月の県中学校駅伝競走大会では優勝を目指したい」、男子主将の沼崎瑞希君は「優勝を狙っていたので、3位入賞という結果は残念でした。県駅伝ではぜひ優勝して、全国大会に出場したい」と決意を新たにしていました。

【出場選手】女子…写真左から川村絵理（2年）、田畑有望（同）、福館ひかる（同）、佐々木美咲（3年） 男子…写真左から斉藤翔太（3年）、尾形優也（同）、伊藤和也（2年）、沼崎瑞希（3年）、鈴木健太（同）  
《敬称略》